

平成25年2月19日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成24年度 第2回 三部会合同部会

◆ 2月19日(火)、美しい多摩川フォーラムの平成24年 第2回 三部会合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成25年2月19日(火) 15時半～17時
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：会長、部会長、副部会長、運営委員、会員等

・ 三部会合同部会の概要

1. 開会

2. 部会長挨拶

3. 経過報告 ※はビデオ放映

- (1) 第5回多摩川子ども環境シンポジウムの開催(12/8)【資料1】※
- (2) 新日本商事(株)より寄付金贈呈(12/13)【資料2】
- (3) 「エコプロダクツ2012」においてフォーラムを紹介(12/13～15)【資料3】
- (4) 公益財団法人とうきゅう環境財団・2013年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究助成金交付要望申請書提出(1/7)【資料4】
- (5) Facebook 利用開始(1/10)
- (6) 「東北復興支援シンポジウム～桜がつむぐ東北の未来～」共催(1/20)【資料5】
- (7) 事務局用パソコンの更新(1/24 運営委員会)【資料6】
- (8) 平成25年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)(1/24 運営委員会)【資料7】
- (9) 「食と地域の交流促進対策事業」～第3回・食と文化の交流イベント開催(1/29)【資料8】
- (10) 第5回美しい多摩川フォトコンテスト審査結果(2/1)【入選作品展示】
- (11) 「食と地域の交流促進対策事業」～第4回・実行委員会開催(2/5)【資料9】
～以下、当面の予定～
- (12) 東北・夢の桜街道推進協議会(美しい多摩川フォーラム)主催「東北観光物産展&東北・夢の桜街道パネル展(2/24～25:新宿西口イベント広場)【資料10】
- (13) 第5回美しい多摩川フォトコンテスト入選作品展&野尻明美氏の淡彩スケッチ画展(3/12～17:青梅市立美術館)【資料11】

- (14) 第1回「桜守学校」を開催（3/22：小金井公園～美しい多摩川フォーラム、小金井市）
- (15) 多摩川夢の桜街道・桜の札所巡り事業【資料12】
 - ①4/5：羽村・福生の駅からハイキング～美しい多摩川フォーラム、JR東日本、西武鉄道、多摩モノレール
 - ②4/7：川崎・大田の桜の札所巡り～美しい多摩川フォーラム、大田観光協会、大田区、東京急行電鉄、京浜急行電鉄、ダニエル・カール副会長）
 - ③4/10：国立・立川の桜ウォーキング～美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、大谷桜守
 - ④4/13：第5回“美しき桜心の物語”の語り会（あきる野・龍珠院～語り部・平野啓子副会長）
 - ⑤4/17：高尾・多摩森林科学園の桜ウォーキング～美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、大谷桜守
- (16) 東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業（東北・夢の桜街道推進協議会）【資料13】
 - 4/26：第2回“美しき桜心の物語”の語り会（二十八番・宮城県鹽竈神社大講堂～語り部・平野啓子副会長）

4. 意見交換

- (1) 平成25年度事業計画骨子・同予算について【資料7】
- (2) 「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」の今春の旅行商品等について
- (3) その他

5. 部会長総括・閉会

1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成24年度第1回三部会合同部会を始めさせていただきます。

2. 部会長挨拶

（細野部会長）

皆さまこんにちは。平成24年度最後の部会、第2回三部会合同部会でございます。2月も後半に突入し、そろそろ桜の季節がやってきます。今日のメインは、東北・夢の桜街道の議論になる予定ですので、沢山の資料が配布されています。皆さんと夢を語り、東北の人たちがもっともっと元気になるように、力を合わせたいと思います。今日は、初めて部会に参加される方が大勢いらっしゃいますので、事務局からフォーラムの紹介かたがた、じっくり説明をしていただきたいと思います。

(平野部会長)

本日はお忙しい中お集まりいただき、有り難うございます。東北は、「以前のよう
な街に戻したい」と元気が出ている地元住民と、衣食住、特に住の不安が大きい地域
の住民がいます。この運動で、取り残されて復旧さえままならない人たちも牽引でき
るようにしていきたいと思っています。皆さんのお力をお借りしたいと思しますので、
よろしく願いいたします。

3. 経過報告

(事務局)

12月の三部会合同部会以降の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料
にて時系列でお示ししております。それでは、はじめに(1)番の第5回多摩川子ど
も環境シンポジウムの活動につきましてビデオにまとめておりますので、入口の
スクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

(1) 第5回多摩川子ども環境シンポジウムの開催(12/8)【資料1】※

- ・ 【資料1】をご覧ください。第5回目となる「多摩川子ども環境シンポジウム」
が、昨年12月8日(土)午後2時より、昭島市のフォレスト・イン昭和館におい
て、総勢178名の一般来場者・発表関係者が参加し、開催されました。多摩川
流域の小中学生による11組の発表が行われ、中には、「友田の獅子舞」といった
郷土文化の発表もあり、大変充実した内容となりました。
- ・ なお、発表内容については、「みんなの発表誌」にまとめ、来月3月上旬に発表者
や教育関係者ほか関係団体の皆さんへ配布する予定です。フォーラム副会長であ
る平野教育文化部会長、一言お願いします。

(平野部会長)

ビデオで私が話した通りですが、少子化が進んでいる中、沢山の子どもたちが
集まってくれました。こういう地道な取り組みを続けることが、地域活性化に繋
がるのではないかと思います。今後も続けていきたい、誇りに思える事業です。

(事務局)

有り難うございました。続いて、実施面でサポートいただいた山崎教育文化副
部会長、一言お願いします。

(山崎副部長)

毎年開催していますが、内容は進化しています。先ほど平野部会長が「少子化」とおっしゃいましたが、先々週、奥多摩町氷川小学校へ環境学習の授業に出掛け、全生徒80人と、とても少人数でした。そんな子どもたちでも、大人と一緒に川を綺麗にしていこうという機運が生まれる事業は、今後も続けていきたいと思えます。皆さんも、機会があれば、「こんな素敵なイベントがあるよ。君たちも発表してみないかい？」と子どもたちに声を掛け、輪を広げていければ、さらに良いものになると思えます。

(2) 新日本商事(株)より寄付金贈呈(12/13)【資料2】

- ・【資料2】をご覧ください。青梅信用金庫の関連会社であります新日本商事株式会社様より東北復興支援の趣旨で100万円が寄付されました。なお、贈呈された100万円につきましては、1月31日に、東北・夢の桜街道推進協議会に拠出されましたので、今春の東北復興支援事業等に役立てられます。

(3) 「エコプロダクツ2012」においてフォーラムを紹介(12/13~15)【資料3】

- ・【資料3】をご覧ください。フォーラム法人会員のカシオ計算機(株)様では、昨年12月13日~15日に東京ビッグサイトで開催された、国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ2012」に出展され、美しい多摩川フォーラムの活動についてご紹介をいただきました。

(4) 公益財団法人とうきゅう環境財団・2013年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究助成金交付要望申請書提出(1/7)【資料4】

- ・【資料4】をご覧ください。1月7日に、公益財団法人とうきゅう環境財団様に申請書を提出いたしました。本来であれば、渡邊環境清流部会長に説明をしていただく予定でしたが、欠席のため、事務局から簡単に説明させていただきます。
- ・申請者は、美しい多摩川フォーラムの代表として、渡邊部会長としております。調査の内容は、「市民や子どもたちによる多摩川流域一斉水質調査についての新たな展開」として、これまでのCODに加え、電気伝導率、硝酸態窒素、リン酸態リンの測定を行います。2013年度より、有機物による水質汚染の指標であるCODに無機イオンの総量の指標である電気伝導率と、生活排水に多く含まれる硝酸態窒素、リン酸態リンの定量を追加し、「身近な水環境の全国一斉水質調査」とも連携して、今後、5年から10年間継続し、多摩川の水質状況を把握するためのシステムを構築することを研究の目的とします。特に、窒素、リンは、東京湾の赤潮、青潮に係る重要な水質項目です。平成25、26年度の2カ年にわたる調査・研究助成で、約100万円の申請をしました。

(5) Facebook 利用開始(1/10)

- ・ このたび、当フォーラムの活動をさらに多くの方に知っていただくことを目的に、Facebook の利用を開始しました。公式ホームページよりも更新回数の頻度を増やすことで、Facebook の利用者の目に留まるようにし、フォーラム活動の知名度をアップさせていきたいと思えます。

(6) 「東北復興支援シンポジウム～桜がつむぐ東北の未来～」 共催 (1/20) 【資料5】

- ・ 【資料5】をご覧ください。1月20日にイイノホールで開催され、第1部では「津波そして桜」の上映、第2部では細野会長がコーディネータ役を務め、パネリスト8人によるパネルディスカッションが行われました。
- ・ なお、開催の告知にあたり、キャリア・맘様、サンケイリビング様、みずとみどり研究会の佐山様、そして、ネットワーク多摩様、日本計画行政学会様の皆様には、無償でメルマガ配信にご協力をいただきました。本席を借りまして、厚く御礼を申し上げます。シンポジウムにコーディネーターとしてご出演された細野部会長、一言お願いします。

(細野会長)

当日は、330～340名が出席されました。第1部のドキュメンタリー短編映画を上映後、誰も拍手しませんでした。それぐらい衝撃的でした。第2部のパネルディスカッションでは、行政や旅行業界の方とともに、平野副会長とダニエル副会長も登壇され、感動的な話を色々いただきました。東北のために、我々がどういことができるかを沢山議論してきました。

(平野副会長)

このイベント開催にあたり、メルマガ等で広報にご協力いただき、有り難うございました。昨年は調布市で東北復興支援シンポジウムを開催しましたが、その時にも皆さんに広報のご協力をお願いできれば良かったと思います。私は主に、過去の成功事例（語り）を報告しました。他のパネリストの皆さんも、それぞれ思い溢れる発言をされ、また、国の役所の方が飛び入りで登壇され、アピールやパフォーマンスがとても上手で驚きました。今後も色んな場面で展開できれば良いと思います。

(7) 事務局用パソコンの更新 (1/24 運営委員会) 【資料6】

- ・ 【資料6】をご覧ください。美しい多摩川フォーラムは設立後6年目を迎え、事務局のパソコンが経年劣化に伴い、大変不安定な稼働状況にあることから、パソコンおよびソフト一式を更新したいということで、先般の運営委員会で可決承認されました。

(8) 平成25年度事業計画骨子・同予算（事務方素案）（1/24 運営委員会）【資料7】

- ・ 【資料7】をご覧ください。こちらも運営委員会で可決承認されました。こちらについては、意見交換で説明させていただきます。

(9) 「食と地域の交流促進対策事業」～第3回・食と文化の交流イベント開催

(1/29) 【資料8】

- ・ 【資料8】をご覧ください。1月29日に、立川グランドホテルで開催されました。平成23、24年度の2ヵ年にわたる、農林水産省関東農政局の「食と地域の交流促進対策交付金事業」の集大成として実施されました。内容は、「多摩の物語・新編5話」、「奥多摩郷土弁当の完成発表」、「桜スイーツの完成発表」で、当日は立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。こちらについて、イベントを総括された平野副会長に一言お願いします。

(平野副会長)

国の交付金をもらって行った事業ですが、書類等が厳しく、事務局はかなり大変だったと思います。大変お疲れさまでした。内容は地味ですが、良いものが出来上がったと思います。これについては、当日イベントに参加された方の感想をお聞きかせください。

(JR東日本企画 牛島 様)

私は地域連携を担当しております。我々が地域を活性化する上でキーにしているのが、ストーリーとブランディングです。しかし、ストーリーをどうやって伝えるか、試行錯誤しています。そんな中、イベントに参加して語りを聞かせていただき、「ストーリーは、こういう伝え方があるんだな」と思いました。着地型観光（観光客や旅行者を受け入れる地域が自分たちの持つ観光資源を生かして企画するツアー）として、それぐらいの「語り」がないと、なかなか人に来てもらえません。来ていただいたお客さまに、きちっとしたストーリーを伝える事によって、リピート率が上がるという印象を持ちました。

(平野副会長)

今後の観光ビジネスにも繋げていきたいというのが当初の目的ですが、長い道のりだと思いますので、更に練っていき、さらに良いものにしていきたいと思います。

(10) 第5回美しい多摩川フォトコンテスト審査結果 (2/1) 【入選作品展示】

- ・ 今回の作品応募点数は、「多摩川の風景・人々部門」が182点、「多摩川夢の桜街道部門」が85点で、合計267点の応募がありました。審査結果ですが、「多摩川の風景・人々部門」、「多摩川夢の桜街道部門」の各部門において、最優秀賞が1点、優秀賞が1点、入賞が3点選ばれました。また、佳作が「多摩川の風景・人々部門」より15点、「多摩川夢の桜街道部門」より5点が選ばれました。この審査結果は、美しい多摩川フォーラムのホームページに公開しておりますが、本日は上位の作品を持参し、サイドのテーブルの上に並べておりますので、後ほどどうぞご覧ください。

(11) 「食と地域の交流促進対策事業」～第4回・実行委員会開催 (2/5) 【資料9】

- ・ 【資料9】をご覧ください。平成23年度～24年度の2年間にわたり、農林水産省関東農政局の交付金事業を実施して参りました。この実行委員会をもって、実行計画が全て計画どおり完了いたしました。

(12) 東北・夢の桜街道推進協議会 (美しい多摩川フォーラム) 主催「東北観光物産展 & 東北・夢の桜街道パネル展 (2/24～25 : 新宿西口イベント広場) 【資料10】

- ・ 【資料10】をご覧ください。去年の同時期にパネル展を開催しましたが、今年はより直接的に東北を応援しようということで、去年の2倍のスペースで、物産展とパネル展を開催する予定です。物産展の出展者は、東北6県から17先です。本来ですと、広場を管理している東京都道路整備保全公社に、売り上げの10%を支払う必要がありますが、特別に無償にいただきました。
- ・ また、東北の物産だけではなく、多摩川流域からも東北を応援するという意味で、小澤酒造さんと東洋米菓さんに出店いただき、「夢の桜街道」というラベルのお酒や「夢の桜街道・桜リング (ドーナツ)」を販売する予定です、売り上げの一部が東北・夢の桜街道に寄付される予定です。本日は、小澤酒造さんと東洋米菓さんにお越しいただいておりますので、一言お願いします。

(小澤酒造株式会社 福岡 様)

「夢の桜街道」というオリジナル・ラベルを貼った特別純米酒を当日会場で販売します。少しでも復興支援のお役に立てるよう、頑張りたいと思います。

(東洋米菓株式会社 湯浅 様)

桜にちなんだスイーツを開発してまいりましたが、ようやく「桜リング」が完成し、販売する予定です。今回、出店のお話をいただき、それが東北復興支援ということで、またとないチャンスだと思い、出店の運びとなりました。今日は現物を皆様にお持ち

しました。この商品は、桜の食材を使用し、和やかで柔らかく、笑顔がこぼれる、春を感じさせるイメージをもとに開発し、自信を持って提供できるものに仕上がりました。桜葉の塩漬けを生地に練り込んでいるため、甘さを上品に引き立たせています。また、発酵バターやチーズを配合し、甘さの中にも奥深さを実現しています。このドーナツは焼いており、余分な油分がないので、ヘルシー志向にも向いています。弊社は米菓を作る会社ですので、米粉を生地に練り込んでおり、しっとり・もっちりとした食感に仕上がっています。弊社の工場には焼きドーナツの生産ラインがあるので、低コストでの量産体制も実現しています。開発に伴い、ご指摘・ご要望等をアンケートやモニタリング調査でいただきましたが、全てのお声を反映した、自信を持って商品を紹介できるレベルとなりました。

(事務局)

今回は東北復興支援として商品を提供いただきますが、美しい多摩川フォーラムでは、「経済」の柱があり、フォーラムのメンバーがWin・Winの関係で、地域経済活性化に向けて具体的に動いております。本日出席された方の中で、「我こそは」と思われる方があれば、事務局にご相談ください。

(13) 第5回美しい多摩川フォトコンテスト入選作品展&野尻明美氏の淡彩スケッチ画展 (3/12~17: 青梅市立美術館) 【資料11】

- ・ 【資料11】をご覧ください。今年で第5回目となります。去年とほぼ同じ内容ですが、今年も開催しますので、よろしく願いいたします。

(14) 第1回「桜守学校」を開催 (3/22: 小金井公園~美しい多摩川フォーラム、小金井市)

- ・ 来月3月22日に東京都が管理する小金井公園内において、小金井市後援のもと開催します。時間は午前9時より正午までを予定しており、桜に関するレクチャーとして、講師には、フォーラム運営委員で多摩森林科学園吉丸園長様、NPO法人東京樹木医プロジェクトの樹木医をお迎えし、園内の桜観察では小金井公園桜守の会にガイド役を務めていただきます。なお、3月1日付で、小金井市報、当フォーラム公式ホームページで募集(30名)を開始いたします。

(15) 多摩川夢の桜街道・桜の札所巡り事業 【資料12】

- ・ 【資料12】をご覧ください。以下のイベントを予定しています。
 - ①4/5: 羽村・福生の駅からハイキング~美しい多摩川フォーラム、JR東日本、西武鉄道、多摩モノレール
 - ②4/7: 川崎・大田の桜の札所巡り~美しい多摩川フォーラム、大田観光協会、大田区、東京急行電鉄、京浜急行電鉄、ダニエル・カール副会長)

- ③4/10：国立・立川の桜ウォーキング～美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、大谷桜守
- ④4/13：第5回“美しき桜心の物語”の語り会（あきる野・龍珠院～語り部・平野啓子副会長）
- ⑤4/17：高尾・多摩森林科学園の桜ウォーキング～美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、大谷桜守

(16) 東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業（東北・夢の桜街道推進協議会）【資料13】

4/26：第2回“美しき桜心の物語”の語り会（二十八番・宮城県鹽竈神社大講堂～語り部・平野啓子副会長）

- ・【資料13】をご覧ください。東北復興支援プロジェクトの一環として、昨年の三春滝桜に引き続き、今年は宮城県鹽竈神社大講堂で語り会を開催します。

（細野会長）

以上で、事務局からの経過報告および当面の予定について、説明がありました。ここまで、ご質問等ございますか。ないようでしたら、意見交換（1）について、事務局より説明をお願いします。

4. 意見交換（部会長）

(1) 平成25年度事業計画骨子・同予算について【資料7】

（事務局）

- ・【資料7】をご覧ください。1. 収入の部の会費収入は2,400,000円を見込んでおります。寄付金は、青梅信用金庫様より8,000,000円で内諾を得ており、前期繰越金1,681,201円と合わせると、合計12,081,201円になります。一方、2. 支出の部ですが、運営費として、総会350,000円ほか、合計すると、3,450,000円、活動費として、夢の桜街道・札所巡り事業700,000円ほか、合計すると8,000,000円、次期繰越金（見込額）631,201円と合わせると、合計12,081,201円となります。
- ・続いて、次ページの「平成25年度事業計画骨子（事務方素案）の主な実施内容について」ですが、基本的にはフォーラムも7年目に入りますので、安定稼働段階となり、「経済」「環境」「教育文化」それぞれ、継続事業が中心となりますが、「経済」③大人のキャック体験教室のみ新規事業となります。
- ・次ページ「平成24年度事業予算執行実績（12月末現在）」をご覧ください。左手に「当初予算」、真ん中に「12月末執行実績」、右手に「25.3着地見通し」となっておりますが、当初予算から大きく数字がぶれている内容について、補足説明させていただきます。まず、会費収入ですが、当初予算1,900,000円に対し、着地

見通しが2,350,000円となっています。これは、今年度の会員数が大幅に増え、昨日現在、1,503名となっており、昨年3月末1,125名から378会員増えている状況（純増ベース）です。そのため、上振れしております。一方、支出の部ですが、「多摩川一斉水質調査」が当初予算600,000円から687,175円に上振れしております。これは、子ども環境シンポジウムの募集とも兼ね、教育の観点から、急遽レポートを1,000枚増刷し、小中学校に配布したためです。

- ・ 次ページ「平成24年度活動報告&今後の予定」をご覧ください。4月からの活動状況を一覧にしたものです。個々の活動をすべて数えると、54件あります。事務局からの説明は以上です。細野会長、よろしくお願いいたします。

(細野会長)

それでは、ご質問やご意見がありましたらよろしくお願いいたします。

(奥山アドバイザー)

来年度の多摩川一斉水質調査ですが、とうきゅう環境財団への申請書は2年間として提出されていますが、内容を読むと、「5～10年続けたい」と書かれています。これは、最初の2年だけ助成を受け、残りの期間はフォーラム独自でやるということでしょうか。

(事務局)

その通りです。

(奥山アドバイザー)

申請書の5ページに、助成金要望額996,200円、自己負担金0円となっていますが、助成金だけがほしいと選考委員に勘違いされてしまうのではないのでしょうか。

(事務局)

今の件について、とうきゅう環境財団の馬淵様からご説明をお願いします。

(馬淵副部長)

研究助成については、3月に入ってから選考委員会が開催されます。実際、この内容で採択されるかどうかは、今の段階では未知数です。

(2)「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」の今春の旅行商品等について

(事務局)

- ・ 今日は、初めて出席されている方もいらっしゃるので、「東北・夢の桜街道」につ

いて説明させていただきます。美しい多摩川フォーラムでは、「経済」軸において、「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」事業を推進し、丸6年を迎えます。JRさんが「駅からハイキング」として、桜の札所2ヵ所や酒蔵を巡る、羽村～福生～拝島のウォーキングイベントを開催したところ、皆さんの関心が高く、2,000人ほどが集まりました。一方、はとバスさんは、青梅～あきる野を中心に、我々事務局が提案した、75番札所・龍珠院を巡るバスツアーがコース化され、こちらにも非常に人気がありました。これらから、夢の桜街道は有効であることが分かりました。そんな中、3月11日に東日本大震災が発生し、我々地域づくり団体として、東北のために何か出来る事はないかと考えたところ、「多摩川夢の桜街道」プランが、東北にもぴったりに当てはまることに気づきました。今まで東北では、数多い桜の名所が「点」として展開されてきましたが、我々は、東北の桜の地域資産に目を付け、88ヵ所選定することにより、津波で被害を受けたところだけではなく、風評被害に悩む地域を含めた「面」的な展開ができると思い、「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」事業をスタートさせました。去年は、八十八ヵ所を選定したということと、「東北・夢の桜街道」のPRを重点的に行いましたが、2年目の今年は、実際に札所を巡ってもらうために、各旅行会社に旅行商品を開発してもらっています。

- 具体的には、まずJR東日本のパンフレットをご覧ください。表紙に「東北・夢の桜街道」ロゴが入っていますが、これは、本日までご出席いただいているジェイアール東日本企画さんが、“共通ロゴ”を無償で開発・提供してくださいました。特徴的なのは、どのページを見ても、我々が選定した札所である限り、札所の名称と番号が記載されていることです。また、JRでは、大人の休日倶楽部向けカタログ「旅カタログ〈楽〉」、「旅カタログ〈遊〉」において、「東北・夢の桜街道」をご紹介いただきました。さらに、「駅からハイキング」でも、「東北・夢の桜街道」の桜の札所を巡るコースが14コースも用意されています。こういうものに人々が参加することで、人が動き、お金が落ちます。旅を通じて地域に還元していくことを考えています。
- 全国には信用金庫が271金庫ありますが、その中の211金庫が「東北・夢の桜街道」運動のPRに協力し、営業店約6,000店舗にPRポスターを掲示します。211金庫の中には、実際に被災された信金27金庫が含まれ、その27信金がJRとタッグを組み、のぼり旗を1,000本作成し、JR主要駅や札所、信金等で掲げました。
- 日本航空では、多くの義援金を拠出いただいた台湾の方々に、インバウンド（海外誘客）を検討しています。今回は、尖閣諸島のこともあり、残念ながら見送りとなりました。
- 63番札所・小岩井農場の一本桜が、JALの絶景コレクションに選ばれ、ホー

ムページから背景画像をダウンロードできるようになっています。それでは、旅行業界各社さんから取り組みについてご説明をお願いいたします。

(ANAセールス㈱ 国内旅行商品部仕入・手仕舞グループ 阿部 慶彦 様)

弊社における「東北・夢の桜街道」の取り組みについてご説明いたします。国内旅行商品「ANAスカイホリデー」では、先ほどご紹介があった“共通ロゴ”をパンフレットに掲載し、周知を計っています。また、航空券販売総合サイト「ANA SKY WEB」では、東北専用の観光ページを設け、春の時期には「東北・夢の桜街道」のコンテンツを制作し、露出を拡大しています。さらに、マイレージクラブのお客さまにはDMで「東北・夢の桜街道」を紹介しています。ANA国内線は、毎日900便運航していますが、機内誌「翼の王国」3月号で「東北・夢の桜街道」を紹介する予定です。

(㈱JTBコーポレートセールス 営業二課 山形 一成 様)

お手もとのパッケージ商品「エース桜紀行」の15ページをご覧ください。こちらで「桜の札所を巡る旅3日間」を紹介しています。3日間で6ヵ所の札所を巡ることができます。

(クラブツーリズム㈱ 地域交流部 課長 高野 知厚 様)

配布資料をご覧ください。弊社ホームページの「桜の旅」のページで、「東北・夢の桜街道」を紹介しています。また、首都圏発着、関西発着の各種商品においても、「東北・夢の桜街道」を紹介しています。

(近畿日本ツーリスト㈱ 首都圏西団体旅行支店 課長 馬場 真人 様)

本年は、初年度として参画しました。私どもでは、「メイト宿泊プラン宮城・伊達な旅」等という名称で、東北6県のパンフレット6冊を作成中です。宿泊プランのため、自家用車、レンタカー、JRを利用して、東北6県を周遊していただくプランになります。パンフレット表紙の右下には“共通ロゴ”を明記し、コンテンツには札所の名称、場所や地図を記載し、お客さまに広くPRしたいと思っています。

(近畿日本ツーリスト㈱ 首都圏西団体旅行支店 支店長 佐藤 博之 様)

私ども近畿日本ツーリスト㈱は、1月1日付で、クラブツーリズム㈱と同じホールディングスに参画しましたので、同じマーケットというよりは、クラブツーリズムはバス旅行、近畿日本ツーリストは地域の情報発信、地域の回遊性に対して訴求する形で商品造成をしています。今後ともよろしくお願ひします。

(事務局)

- ・ 有り難うございました。こういう形で、公共交通機関や旅行会社が、それぞれの考えや立場で「東北・夢の桜街道」の旅行商品開発に取り組んでいただいています。また、協議会事務局では、現在スタンプラリー帳を作成中です。完成後、10,000部発行し、関係各所へ配布して、お客様に楽しみながら札所を巡っていただく予定です。現地旅館からもご協力をいただき、一定のスタンプ個数をクリアした場合、抽選でペア無料宿泊券を各県2組にプレゼントする予定です。
- ・ さらに、東北観光推進機構様のご協力で、フォトコンテストを実施し、入選者には無料宿泊券をプレゼントします。
- ・ その他、「しんきん桜守制度」を導入し、地域の子どもたちを対象にした絵画コンクールを開催し、地元の魅力ある資源を活用し、おもてなしの心を育みます。
- ・ この「東北・夢の桜街道」は、すでに反響が出ており、東京や新潟の百貨店から「『東北・夢の桜街道』のパネル展を開催したい」と申込みがありました。また、帝国書院が去年『花の地図』という単行本を作り、その中で2ページにわたって「東北・夢の桜街道」を紹介していただいたのですが、それをカレンダーに活用できるように、無償提供していただきました。詳細については、配布資料をご覧ください。

5. 総括・閉会（部会長）

(平野部会長)

色々な説明を聞いて、皆さんの頭の中が飽和状態になっていると思います。旅行会社各社の皆さんや鉄道・航空会社各社の皆さんのご協力があって、初めて人が動き始めるので、大変嬉しく思います。有り難うございました。各種パンフレットの説明をしていただきましたが、ここに至るまでに色々なことを考えられ、ご苦労されたことと思います。細野会長のもとで、何としても成功させたいと思います。今後、東北復興で「語り」という要素を使う時は、ぜひ私にお知らせください。

(細野会長)

こういった形で、各機関にご協力いただくと、一種のシナジー効果が起こり、大きな力になります。これが東北に投影され、東北自身が自律的に発展していく手助けになります。皆さんの目に見える効果が出るには時間がかかりますが、我々は10年間この運動を続けていきますので、よろしく願いいたします。

それでは、平成24年度・第2回三部会合同部会を終わります。有り難うございました。

以 上